スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

## 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

# 福井県越前市


自 治 体 名 ： 福井県　越前市
担 当 課 名 ： 教育委員会事務局学校教育課
電 話 番 号 ： 0778－22－3127

# 1.自治体の基本情報

スポーツ庁

## 基本情報

| | |
|---|---|
| 面積 | 230.70㎢ |
| 人口 | 80,264人 |
| 公立中学校数 | 8校 |
| 公立中学校生徒数 | 2,014人 |
| 部活動数<br>（運動部活動のみ） | 78部活 |
| 地域クラブ活動数 | 10クラブ |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況 | 設置済 |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 策定済 |

## 地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

現在、当市の運動部活動は、軟式野球部、男女バスケットボール部、男女バレーボール部、男女ソフトテニス部、剣道部、サッカー部、バドミントン部、陸上部が活動している。

少子化に伴い、各中学校の部員数が不足し部を休止せざるをえない状況も生じてきている。剣道部は、少数の部員数となり、団体戦への出場ができない場合も生じてきている。今後も、越前市の中学校の生徒数の減少が続くことが想定されており、昨今の出生者数を見ると、学校以外で子どもたちが地域でスポーツに親しむ機会を確保することが必要となっており、当市においても、中学校における部活動のあり方を検討している。

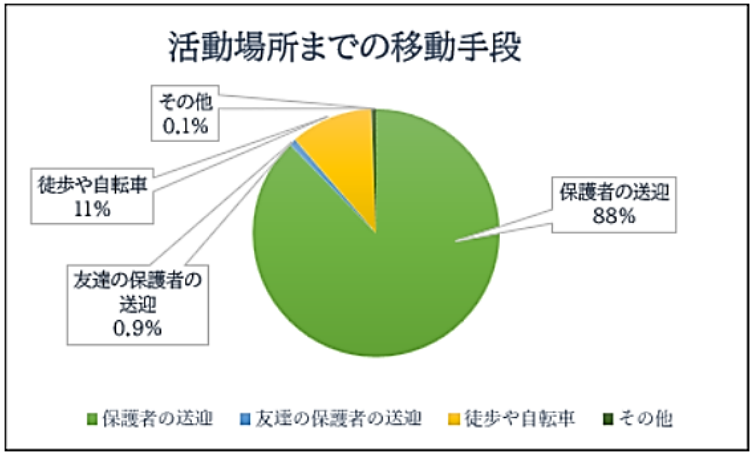
改革推進期間である3年間で、少子化の中でも将来にわたり、当市の子どもたちがスポーツに継続して親しむ機会を確保するため、地域クラブ活動を整備した。

令和5年度には、ソフトテニスと剣道の「地域クラブ活動」を開始し、運営の方法について、実証を重ねてきた。

令和6年度には、他の種目にも、事業を拡大し、課題の解決に取組んだ。

令和7年度には、令和7年10月から休日の地域展開の完全実施を行った。

主な課題としては、運営団体・実施団体の体制整備等、指導者の確保・育成、活動場所の確保、移動手段がある。




●課題

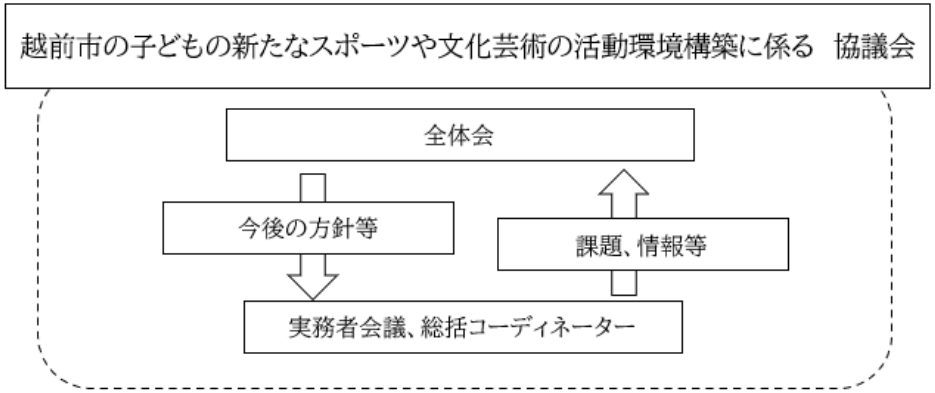
送迎を保護者に頼っているため、会場が遠い場合の参加が困難になることがある。

# 2.実証内容と成果

スポーツ庁

## 運営体制・役割

### ●市区町村における推進体制図




### ●行政組織内での役割分担

**◉教育委員会（学校教育課）**

- **総括コーディネーターの配置による地域クラブ活動との連絡調整**
- **施設利用等に係る連絡調整**
- **学校と総括コーデネーターとの部活動と地域クラブ活動との連絡調整**

**◉首長部局**

- **予算編成**
- **交通アクセスの協議**

## 年間の事業スケジュール

令和7年

4月　前期地域クラブ活動開始

6月　第1回協議会

7月　第1回実務者連絡会

8月　後期生徒・保護者説明会

9月　「地域クラブ活動」競技団体説明会

10月　第1回指導者研修会
後期地域クラブ活動開始

11月　第2回協議会
第2回実務者連絡会

令和8年

1月　第3回実務者連絡会
第2回指導者研修会

2月　第3回協議会
「地域クラブ活動」見学会（小学6年生対象）

# 2.実証内容と成果

スポーツ庁

## 地域クラブ活動の運営実績

### ①全体に関すること

| | | | |
|---|---|---|---|
| 実施した地域クラブ活動総数 | | 10クラブ | |
| ケース別地域クラブ活動数 | A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（および移行された部活動数） | | 0クラブ（0部活動） |
| | B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数 | | 10クラブ |
| 全体の指導者数 | 137人 | 全体の運営スタッフ数 | 137人 |

### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

| 地域クラブ活動名 | 運営団体種別 | 種目 | 実施回数（平日・休日） | 実施時間帯 | 参加者（学年別） | 実施期間 | 指導者数 | 運営スタッフ数（他クラブと兼務） | 会費 | 大会参加方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 越前市地域クラブ（剣道） | 民間 | 剣道 | 休日　月4回 | 9:00～12:00 | 1年　15人<br>2年　15人<br>3年　12人 | 4月～3月 | 25人 | 25人<br>（内、兼務なし） | 年会費<br>800円 | 中体連：部活動・地域クラブ<br>その他：部活動・地域クラブ |
| 越前市地域クラブ（ソフトテニス） | 民間 | ソフトテニス | 休日　月4回 | 9:00～12:00 | 1年　49人<br>2年　52人<br>3年　39人 | 4月～3月 | 24人 | 24人<br>（内、兼務なし） | 年会費<br>800円 | 中体連：部活動・地域クラブ<br>その他：部活動・地域クラブ |
| 越前市地域クラブ（陸上） | 民間 | 陸上 | 休日　月4回 | 9:00～12:00 | 1年　22人<br>2年　18人<br>3年　0人 | 4月～3月 | 16人 | 16人<br>（内、兼務なし） | 年会費<br>800円 | 中体連：部活動<br>その他：部活動 |

# 2.実証内容と成果

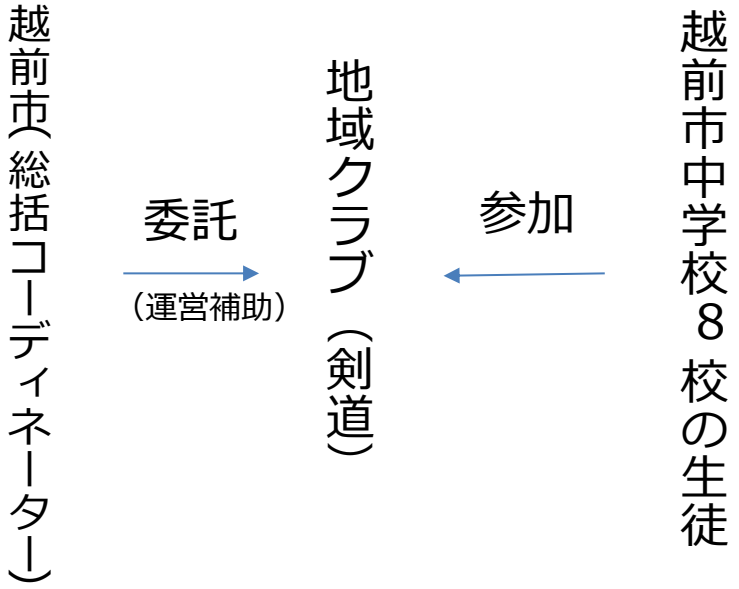
スポーツ庁

## 主な取組例

### ●越前市地域クラブ（剣道）活動概要

| | |
|---|---|
| 地域クラブ活動で実施した種目 | 剣道 |
| 運営団体名 | 越前市剣道連盟 |
| 期間と日数 | 月4回程度 |
| 指導者の主な属性 | 中学校教員、剣道連盟所属の指導者 |
| 活動場所 | 越前市武道館 |
| 主な移動手段 | 保護者の送迎（車） |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | 800円 |
| 1人あたりの保険料 | スポーツ安全保険<br>生徒1人あたり：800円/年<br>指導者1人あたり：1,850円/年 |

### ●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図




### ●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●統括責任者　1人

役割：出欠の確認、安全確認、生徒の状況、指導内容の調整を行う

●主任指導者　1人

役割：指導内容と指導方法の調整を行う

●運営補助者　2人～4人（26人の登録からローテーションで参加）

役割：主任指導者の補助を行う

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

#### 取組事項

○ 教育委員会が、総括コーディネーター1名を配置し、運営団体の関係者との連絡調整・指導助言等を行う。
○ 実務者会議を定期的に開催（令和7年度は、4回）し、実務者会議には、各運営団体の代表1人が参加する。
○ 実務者会議では、現状の報告、改善点等を話し合い、今後の方向性を決定する。
○ 生徒の出欠把握や「地域クラブ活動」の活動状況の確認、指導者の出退管理のため、「部活アプリ」の導入。

#### 取組の成果

○ 実務者会議を定期的に開催したり、総括コーディネーターが活動を巡回したりすることで、早めの活動計画の見直しや、指導者同士の連絡調整がうまくいった。
○ 地域クラブ活動の共通目標を「できる楽しさを自覚させる」とし、生徒に寄り添う指導や支援を行うことを地域クラブ活動の共通認識にしたことで、各団体とも着実な運営を行っている。
○ 中学生と関わる地域の指導者が増加している。（令和6年度107人、令和7年度137人）
○ アプリの導入により、活動の様子をアプリで確認でき、保護者から大変好評を得ている。

#### 今後の取組における課題

○ 参加費や保険料の集金方法について、現金ではなく電子決済システムの導入
○ 指導者の確保と平日部活動の地域展開にむけて、関係団体・大学・民間企業等との連携

#### 課題への対応方針

○ 令和8年度での電子決済システムの導入について、検討をおこなう。
○ 民間企業との連携について、検討を進める。

#### コーディネーターの具体的な動きの実績

【総括コーディネーター】

- 毎回、各地域クラブ活動を巡回し課題等のヒアリング・助言等を実施
- 協議会の調整等を実施し、関係団体との連携に努め、学校、参加者、指導者への連絡調整を実施

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

#### 取組事項

- 市の指導者研修会を10月と1月の2回開催し、中学生の心理や安全の確保等について、講義を受けた。また、市の地域クラブ活動の理念や方針を説明した。
- 県主催の指導者向け研修会への参加を促し、質を確保する。
- 実務者会議（各地域クラブ活動の運営代表者）を開催し、指導の工夫について支援する。
- 総括コーディネーターが毎回、各地域クラブ活動の状況を巡回し、運営について、支援する。
- 競技団体との協議により、人材の発掘を推進する。

#### 取組の成果

越前市の理念や方針を指導者に理解してもらい、指導者研修会等で生徒に寄り添う支援をお願いしていることで、参加者のアンケートによると、楽しい、役に立っていると回答する生徒の割合が、89%であり、高評価を得ている。

総括コーディネーターの巡回により、活動内容や指導方法の見直し等、早めの対応ができた。

総括コーディネーターが、競技団体や競技の関係者等と調整をおこない、人材発掘に努めた結果、137人の指導者を確保することができた。

#### 今後の取組における課題

- 指導者の質の向上のため、指導の資格について、今後、検討していくことが必要である。また、指導者資格への費用の補助についても、検討していく。
- 競技団体やスポーツ少年団等との協議は、今後も継続して実施していくことが必要である。

#### 課題への対応方針

- 民間からの指導者を確保するため、競技団体やスポーツ少年団等の協議を引き続き行う。
- 令和8年度から新たにスポーツ指導者資格取得した場合の費用の一部の補助を開始し、指導者の確保を進める。

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

**取組事項**

地域クラブ活動の持続可能な運営に向け、指導者の資質向上及び指導者確保を目的として、指導者研修会を2回実施した。

第1回研修会では中学校部活動の現状や中学生への適切な指導方法、第2回研修会ではハラスメント防止や安全管理について学ぶ機会を設けた。研修を通して、地域クラブ活動の理念や生徒理解に関する共通認識を深めるとともに、指導上の留意点について理解を促進した。

また、既存指導者同士の情報共有や交流の場としても機能し、指導体制の充実につながった。今後も継続的な研修機会の確保や指導者間ネットワークの構築を進め、指導者の質の向上と安定的な人材確保に取り組む。



**指導者研修の内容**

| | |
|---|---|
| **研修名** | 第1回越前市「地域クラブ活動」指導者研修会 |
| **講師** | 中学校校長（日本スポーツ協会陸上競技公認コーチ） |
| **研修内容** | • 中学校部活動の現状<br>• 中学生への適切な指導<br>• よい指導者とは 等 |

| | |
|---|---|
| **研修名** | 第2回越前市「地域クラブ活動」指導者研修会 |
| **講師** | 民間クラブ団長 |
| **研修内容** | • 指導におけるハラスメントや安全管理　等 |

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

#### 取組事項

○ 学校と連携して進めていくため、中学校校長会やPTA連合会等において、今後の見通し等の説明を実施した。
○ 各競技団体に、地域クラブ活動の理念や方針、今後の方向性について、説明会を7月に実施した。
○ 指導者の派遣に関して、各競技団体に支援を要請した。

#### 取組の成果

○ 中学校校長会やPTA連合会等を訪問し、学校の協力を求めた。指導者の確保についても、お願いしている。市内中学校の全ての生徒に募集チラシの配布を行うだけでなく、生徒・保護者向け説明会（計3回）を8月に実施した。その結果、令和7年度後期は、780人の参加があった。

#### 今後の取組における課題

○ 専門的な知識や経験を有する指導者の確保が課題となっている。特に平日部活動の地域展開を見据えた場合、活動種目や活動日数の拡大に対応できる指導者数が不足することが想定される。継続的な指導者確保に向けては、競技団体、大学、民間企業等との更なる連携強化が必要である。
○ 生徒の活動場所までの移動について、保護者送迎への依存が大きく、居住地域や家庭環境によって参加機会に差が生じる可能性がある。活動場所や移動手段の確保については、学校、地域団体、関係機関等との協力体制の構築が必要となっている。

#### 課題への対応方針

○ 競技団体、大学、民間企業等との連携を検討し、指導者の発掘・確保を進めるとともに、指導者研修の充実により資質向上を図る。また、平日部活動の地域展開を見据え、多様な人材が地域クラブ活動に参画できる体制づくりを進める。
○ 保護者送迎の負担を軽減するため、生徒が在籍する中学校からできるだけ近い距離での活動場所で確保するようにする。
また、移動手段が確保できないかについて、検討を進める。

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

#### 取組事項

○ 令和6年度に引き続き、令和7年度も全ての運動部の部活動に関する地域クラブ活動を設置した。
○ 参加人数により、活動量が確保できるように、1か所または2か所で活動できるようにした。
○ 他市町のコーディネーターと適宜、協議を行い、方向性の確認を行ったり、今後の連携の可能性について、話し合った。

#### 今後の取組における課題

○ 生徒が居住地や在籍校に関わらず多様な活動機会を確保できるよう、広域的な活動体制の整備を進める必要がある。その一方で、生徒が他市町の地域クラブ活動へ参加する場合の大会参加資格や所属の取扱い、活動に関するルール等については整理が必要である。
○ 広域的な連携を進めるに当たり、市町ごとの運営方法や保護者負担の考え方などに違いがあることから、関係自治体や競技団体との継続的な協議が必要となっている。

#### 取組の成果

○ 参加人数に応じて活動場所を複数確保したことで、活動量の不足や過密な活動環境を防ぐことができた。
○ 他市町のコーディネーターと継続的に協議を行うことで、アプリの活用方法や保護者負担の割合など、今後の運営に関する方向性を確認することができた。
○ 地域クラブ活動の運営方針や指導方法、活動場所の確保、鍵の開錠・施錠等の実務的な課題についても情報共有を行い、円滑な活動運営に向けた知見を得ることができた。

#### 課題への対応方針

○ 他市町のコーディネーターや関係競技団体との情報共有及び協議を継続し、広域的な活動を行う生徒の大会参加資格や所属の取扱い等について整理を進める。また、国・県の方針や他自治体の事例を参考にしながら、生徒が活動機会や大会参加の機会を損なうことのない体制整備を図る。
○市町間における運営方法や保護者負担等の考え方について情報共有を行う。また、広域的な連携の可能性を探りながら、生徒が居住地や在籍校に関わらず継続して活動できる環境整備を進める。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
**オ：内容の充実**
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

**●取組項目名　オ：内容の充実**

### 取組事項

○ 子どもが地域でスポーツに親しむ機会を確保するため、令和7年度には、中学校で行われている全ての部活動に相当する地域クラブ活動を設置する。
○ 各地域クラブの情報を共有し、よりよい方向性を話し合い、実際の運営に生かすため、地域クラブの運営責任者（種目コーディネーター）の実務者会議を4回開催する。

### 今後の取組における課題

○ 生徒が地域クラブ活動の運営や企画に直接参画する機会が十分ではなく、主体的に活動をつくり上げていく仕組みづくりが必要である。
○ 新たな競技の地域クラブ活動の実施については、指導者や活動場所の確保、参加希望者数の把握などが課題となっている。
○地域クラブ間での情報共有や連携をさらに進め、継続的で安定した運営体制を構築する必要がある。

### 取組の成果

○ 各地域クラブ活動の指導内容を越前市の理念や方針に沿ったものにするため、指導者研修会や実務者会議を開催し、参加している生徒が満足できる活動になるよう心掛けた。各地域クラブにおいて指導方針や運営上の課題について情報共有を行うことで、クラブ運営の充実につながった。
○ 参加者のアンケートでは、「楽しく活動できる」と回答した生徒が9割を占めており、生徒が地域で継続的にスポーツへ親しむ機会の確保につながった。

### 課題への対応方針

○ 生徒の地域クラブ活動への直接的な運営参画を進めるため、参加生徒同士による話し合いや意見交換の機会を企画し、生徒の意見を活動内容や運営に反映できる仕組みづくりを進める。
○ 新たな競技の地域クラブ活動の実施を検討するため、関係競技団体との協議を行うとともに、指導者や活動場所の確保に向けた調整を進める。
○ 実務者会議等を活用して地域クラブ間の情報共有を継続し、各クラブの運営改善や活動の充実につなげていく。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

#### 取組事項

〇子どもが地域でスポーツや地域クラブ活動を継続して実施できる環境を整備・支援するなかで、実証事業により活動場所や運営体制を確保し、参加費用の一部を公的に負担することで、保護者の経済的負担を間接的に軽減する。あわせて、誰もが参加しやすい環境づくりを進め、地域クラブ活動への参加機会の確保を図る。

#### 今後の取組における課題

○ 地域クラブ活動が将来的にも持続可能な取組となるよう、参加費と公的負担の適切なバランスを検討し、安定した運営財源を確保する必要がある。
○ 経済的に困難な世帯の生徒が地域クラブ活動に参加する場合の参加費負担への配慮が必要であり、支援制度の内容や対象範囲について継続的に検討していく必要がある。
○ 実証事業終了後も参加しやすい環境を維持するため、保護者負担の急激な増加を抑制しながら、地域クラブ活動の継続的な運営方法を構築していくことが課題である。

#### 取組の成果

○ 令和7年は、保険料以外を委託料で賄ったため、参加者の費用負担を抑えた。
○ 今後、保護者等に負担が見込まれる参加費を低廉な額とすることや、生徒の安全を確保するため、学校体育施設を中心に実証事業の活動を実施したため、地域クラブ活動の活動場所に係る参加者の費用負担を抑えることができた。
○ 各クラブの運営費を抑えるため、集金業務や出欠確認を行うことができる連絡アプリの導入を検討した。

#### 課題への対応方針

○ 令和7年度で実証事業が終了するため、参加費と公的負担のバランスを考えながら、令和8年度から令和13年度に向けて、参加費が低廉な金額となるよう、計画的に地域クラブ活動の参加費を検討し、適正な負担の在り方を研究する。
○ 令和8年度から経済的困窮世帯の生徒が地域クラブ活動に参加する場合に、参加費等助成を行う。

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

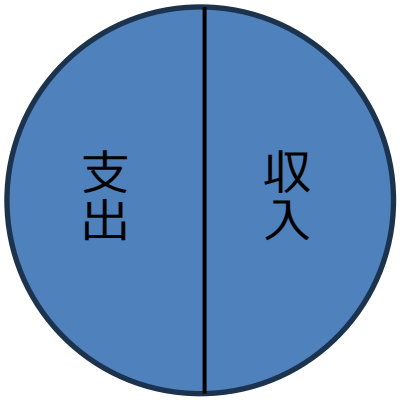
## 取組内容

### ●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

**収支バランス**

＜モデル事業終了後＞

スポーツ活動のため少人数指導になる協議については指導者数も抑えられ、参加者数20人程度を想定した場合、受益者負担と運営経費とのバランスが取れた収支となる。指導者謝礼や保険料等を含めた必要経費を参加者で負担することで、地域クラブ活動として継続可能な運営が可能となる見込みである。




令和7年越前市教育委員会作成

＜実証事業終了後＞

指導者謝礼（1人）：4,800円（3時間）（A）

参加生徒数：20人（B）

受益者負担（1回）：

指導料240円（A÷B）＋諸雑費260円＝500円

月4回活動した場合：500円×4回＝2,000円

（保険料・アプリ代を含む）

※参加生徒数20人を想定した試算であり、受益者負担を抑えながら持続可能な地域クラブ活動の運営が可能となるよう設定している。

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　キ：学校施設の活用等

#### 取組事項

○ 今後、保護者等に負担が見込まれる受益者負担を低廉な額とすることや、生徒の安全を確保するため、学校体育施設を中心に実証事業の活動を実施した。
○ 中学校校長会に協力を求め、優先的に休日の施設使用ができるように依頼し、学校の施設を地域クラブ活動で使用した。
○ 市の施設についても、担当課の協力を得て、優先的に施設使用を行った。

#### 今後の取組における課題

○ 活動場所の確保。今後も全ての地域クラブ活動を安定的に実施するためには、学校施設及び市施設の継続的な利用について関係機関との調整が必要である。
○ 冬季の屋外競技の活動場所の確保。積雪や悪天候により屋外施設が使用できない日があるため、代替施設の確保や活動内容の工夫が必要である。
○ 地域クラブ活動の拡大に伴い、休日や他団体の利用との調整が必要となることから、施設利用に係るルールや調整体制の整備が課題である。

#### 取組の成果

○ 中学校の施設は、バレーボール、サッカー、バスケットボール、軟式野球、バドミントン、卓球の全ての活動で使用した。学校施設を活用することで、生徒が活動しやすい環境を確保するとともに、安全面にも配慮した活動を実施することができた。
○ 市の施設は、陸上、剣道、ソフトテニス、柔道の全ての活動で使用した。各競技の特性に応じた施設を活用することで、活動内容の充実を図ることができた。

#### 課題への対応方針

○ 当市では、全ての部活動を地域クラブ活動で実施しているため、教育委員会と中学校長会が継続して協議を行い、学校施設を安定的に利用できる体制を維持する。
○ 屋外の競技については、冬期間は荒天の日が多いことから、次年度以降も体育館利用を含めた代替施設の確保を検討し、安定した活動機会の確保に努める。
○ 施設利用に関する課題や要望を定期的に把握し、関係団体との情報共有を進めながら、競技ごとの実情に応じた活動場所の確保に努める。

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　ク：その他の取組

#### 取組事項

○ 改革実行期間の取組を推進する観点から、休日だけではなく平日も含めた地域スポーツクラブ活動への移行に向けた取組を実施した。平日の活動に関する課題や運営方法について関係者間で協議を進めるとともに、地域移行後の円滑な活動実施に向けて課題の抽出や課題解決策の検討を行った。また、生徒が継続して活動できる体制整備についても検討を進めた。

#### 今後の取組における課題

○ 平日の指導者の確保。休日の地域クラブ活動だけでなく、平日の活動についても継続的かつ安定的に指導できる人材の確保が必要である。また、地域クラブ活動への移行を円滑に進めるため、平日の活動を支える指導者が無理なく継続して活動に参加できる体制を構築するとともに、競技団体やスポーツ関係団体との連携を強化しながら、指導者の発掘・確保及び育成を進めていくことが課題となっている。

#### 取組の成果

○ 今後の平日の地域移行を見据えて、中学校の部活動指導員を増員するよう予算化し、計画的に配置を進めている。これにより、平日の指導体制の充実に向けた基盤整備を図ることができた。
令和6年度：7人
令和7年度：8人
令和8年度：8人（予定）

#### 課題への対応方針

○ 平日の指導者の確保について、スポーツ少年団や競技団体との協議を進めるとともに、新たな指導者人材の発掘や確保に取り組む。
○ 部活動指導員や地域指導者等の活用を進めながら、平日の活動を支える人材の拡充を図る。また、関係団体との連携を強化し、競技ごとの実情に応じた指導体制の整備を進める。

# 2.実証内容と成果①

スポーツ庁

## 総括・成果の評価・今後に向けて

### ●総括

- 全国的に少子化が進む中、子どもが地域でスポーツや文化に親しむ機会を確保するため、現在、全国的に休日部活動の地域クラブ活動への移行が進められている。
- 本市においても、中学校における部活動のあり方について、令和5年度から「越前市の子どもの新たな活動環境に係る検討委員会」、令和6年度からは、「越前市の子どもの新たな活動環境構築に係る協議会」により、越前市における、新たなスポーツや文化芸術の活動環境構築について検討し、次のように越前市の基本的な考え方をまとめた。

  （1）少子化等の中でも将来にわたり越前市の子どもたちが、スポーツや文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保する。

  （2）越前市の子どもたちが、自発的な参画を通して「楽しさ」・「喜び」を感じ、自己実現を図りながら活動することができる場を整備する。

  （3）地域の持続可能で多様なスポーツや文化芸術の環境を一体的に整備し、過度に専門性を追求するのではなく、子どもたちが気軽に参加できるように受益者の負担をできるだけ減らし、多様な体験機会を段階的に確保する。
- この方針に沿い、地域クラブ活動を展開している。

### ●成果の評価

- 令和5年度には、ソフトテニスと剣道の休日の地域クラブ活動を立ち上げた。
- 令和6年度には、新たに軟式野球、サッカー、卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、陸上、柔道の地域クラブ活動を立ち上げ、10の地域クラブ活動を運営している。この結果、本市の中学校に設置されているすべての運動部の種目に相当する地域クラブ活動が整備された。
- 指導者の確保については、総括コーディネーターが競技団体やスポーツ少年団と協議し、人材を発掘し、総数137人の指導者を確保している。
- 指導者の質については、総括コーディネーターの巡回や実務者会（各運営団体の代表者）、指導者研修会の実施により、指導方法や練習方法に助言を与え、生徒のアンケートによると89%が「とても楽しい」「まあまあ楽しい」と答えている。

### ●今後に向けて

- 課題としては、持続可能な「地域クラブ活動」の在り方や今後の参加費の在り方、また全ての地域クラブ活動が複数校区（市内全校区）の生徒を受け入れているが、交通が弱い地域であるため練習場所等へのアクセス方法が課題となっている。
  令和8年度は、この課題の解決に向けて研究していく。

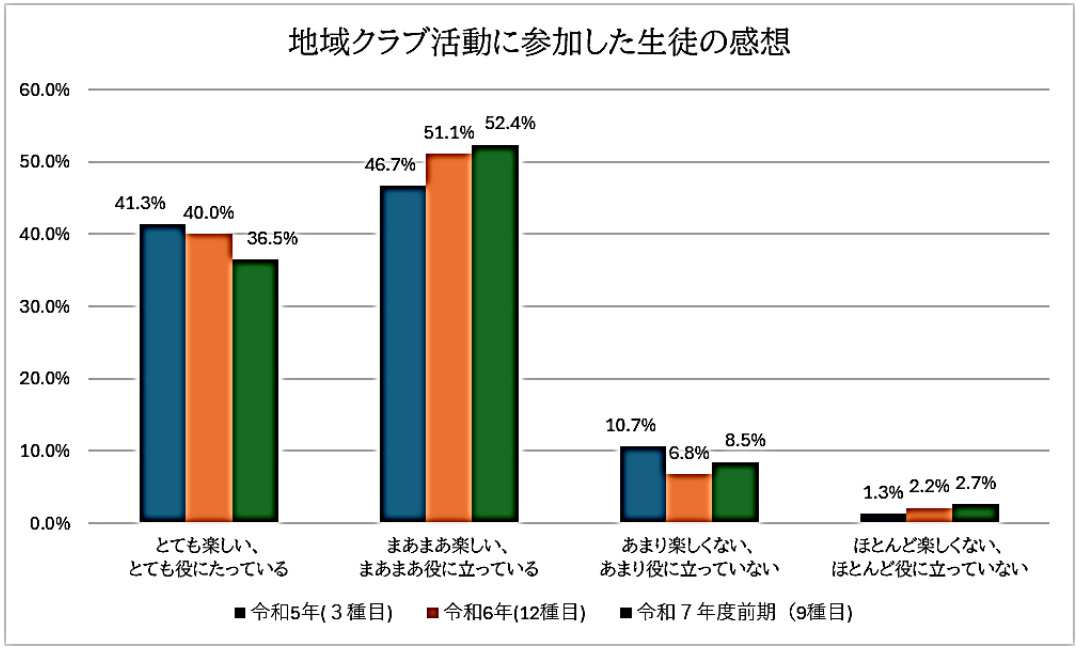
# 2.実証内容と成果②

スポーツ庁

## アンケート結果・参加者/関係者の声

### ●アンケート結果

生徒のアンケート結果
（回答数：令和5年度　75名　　令和6年度　325名　令和7年度　636名）




### ●参加者/関係者の声

【生徒】

- レベルにあった指導を受けることができる。
- 先生方が丁寧に教えてくれたしすごくわかりやすかった。
- 専門的な指導を受けることができる。
- 指導者の方がよく声を掛けてくれていた。
- できるようになったことがある。
- 楽しく練習できる。
- 他の学校と一緒に試合や活動ができたのが楽しかった。
- 日頃の学校部活動に生かすことができる。
- 去年はアップが長く、練習ばっかりで楽しくなかったが、今年はゲーム練習や、ほかの学校と試合ができて楽しかった。
- もっと活動したい。

【保護者】

- 試合形式の練習ができたのが良かった。
- 他の中学校の人と練習できることがよい。
- アプリでスケジュールや活動状況がわかるのは大変良かった。
- 子どもが活動を楽しみにしていた。
- しっかり活動していただきありがたかった。

# 2.実証内容と成果③

スポーツ庁

## 参考資料



【サッカー】



【バレーボール】



【陸上】



【柔道】

# 2.実証内容と成果

スポーツ庁

## 地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

| 令和4年 | | 令和5年 | | 令和6年 | 令和7年 |
|---|---|---|---|---|---|
| 協議会設置、検討開始 | 中学校への説明 | 保護者、生徒への説明 | モデル競技（ソフトテニス・剣道）の実施 | 地域クラブ活動の全種目への拡大 | 地域クラブ活動の活動日の拡大 |

**●ステークホルダー**

学校、PTA連合会、競技団体、スポーツ少年団、市長部局、市教委、総括コーディネーター、各種目の代表

**●経過**

令和4年度より地域クラブ活動の協議会を設置し、令和5年度からは、剣道連盟とソフトテニス連盟の協力を得て、2種目をモデル事業として、地域クラブ活動をスタートさせた。また、各運営団体の代表による実務者会議を設置し、課題について、競技する場を設置した。令和6年度からは、市内の中学校に設置している部活動全ての種目の地域クラブ活動を実施した。

**●実施内容、工夫した点 等**

10月からは市内8中学校の20部活動において月2回～3回、休日の部活動を取りやめ、地域クラブ活動へ参加する取組を開始した。地域クラブ活動は全10クラブが実施された。全てのクラブは、市内のどの中学校からも参加可能である。活動は、市の中学校や市の施設を優先的に使用している。

**実施にあたって生じた課題**

休日のクラブ活動において、連絡や出欠報告等の運営団体の負担が大きいとの指摘があり、Formsやホームページの活用を図った。現在は、保護者の送迎を基本としているため、会場のローテーションを試験的に行ったが、会場の間違いや備品の移動等の問題があった。

令和6年度は、会場の設定を各家庭から20分以内との基準を設け、活動場所を調整している。しかし、アンケートでは、送迎の負担が指摘されているので、デマンド交通等の導入も含め、市内部の協議を進めていく。

**今後の展開**

大会への参加のあり方を含め、令和7年度8月までに、学校の状況、保護者や生徒の意向を踏まえ、どのような形態で、地域クラブ活動を行っていくかについて、検討していく。その結果を受け、令和7年10月からは、中学校の部活動全てに相当する、休日の地域クラブ活動を毎週実施する。

# 3.今後の方向性

スポーツ庁

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

| 令和6年 | 令和7年 | 令和8年～ |
|---|---|---|
| • 実証活動の増加<br>【新規】<br>柔道<br>陸上<br>卓球<br>バスケットボール<br>バレーボール<br>バドミントン<br>軟式野球<br><br>【既存】<br>ソフトテニス<br>剣道<br><br>• 指導者講習の確立 | • 実証活動の活動日の増加<br>令和6年　月2回から3回<br>令和7年　全ての休日<br>• 指導者研修会の開催<br>• 生徒の交通手段の研究<br>• 実証事業終了後の参加者負担額の検討 | • 地域クラブ活動の種類の増加<br>（障がいのある生徒を含めた活動）<br>（いろいろな種目を含めた活動）<br>• 指導者研修会の開催<br>• 生徒の交通手段の研究<br>• 適正な参加者負担による地域クラブの自走化 |